

土浦平和の会

ニュース NO・32 1996年6月

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122



会員からひと言

お隣りの国

ハルモニを支える会代表 栗栖 恵子

1996年2月16日だった。福島水器子、合田さた両氏と私は雨の中を東京へ向かった。参議院会館で、吉川春子氏の事務所を訪ねた。そこで高橋秘書に会った。彼女は吉川議員の質問の時間が早くなったと言って私たちをすぐに参議院予算委員会の会場へ案内してくれた。早足だ。傍聴手続きをすませ、階段を何階まで上ったか覚えていないが、息をハアハアつきながら会場に着いた。私にとっては初めての経験だったが、テレビでよく見る場が目前に現れ、吉川議員が国連の人権委員会の女性に対する暴力特別報告官マクラスフミさんの従軍慰安婦に関する報告書を巡って総理に質問をあげていた。私は自分がここに座っている重みを感じながら吉川議員のやりとりを聞き入った。私たちが外へでたとき、吉川議員が私たちに会いに出てこられた。秘書が連絡してくれたのだろう。廊下でのほんの2、3分の立ち話だったが、応援にかけつけてくれたことを大変喜び、私たちも吉川氏の活躍を激励し、握手をして別れた。

6人家族がバラバラになって生活した戦争中のこと（両親と私は東京、小5の弟小3の妹は伊香保、5歳の妹は土浦）。近所の大たちで日の丸の小旗をぶりぶり送り出した兵隊さん。その大たちが、軍隊という組織の中でくりひろげた数々の多方面にわたる実態が明らかになってきた。

その一つが従軍慰安婦問題。私の知るところでは、彼女たちが長い沈黙から立ち上がり、被害の謝罪と補償を訴えた。そこに出てきたのが「女性のためのアジア平和基金」である。この実施をもって戦後決着をはかる意図に深い疑念を持って闘っている15人のハルモニたちがいる。

私たちはこのハルモニの中の金粉先、権台仁氏を昨年11月土浦に迎えて交流会をもった。マスコミに騒がれてから知った多くの事実。そして今一番身近に感じているハルモニたち。親戚のおばーちゃんが泊してくれられたような親近感。それは私か母から教わったお手玉の歌と同じ歌を歌ってくれただけでなく、人間としての尊厳を取り戻すべく、強い意志をもっているすばらしい大たちを感じたからだった。

1996年原水雲世界大会（8日4日から6日広島）

に土浦平和の会から代表派遣び決まりました。会員の香取さんの予定です。派泊のためのカンパに協力（ださい）。

平和行進に参りましょう（石岡市役所8：30 土浦亀坡公園72：00ころ）

行事ごよみ

- 6月18日 土浦平和の会理事会（1中地区）
- 6月19日 原水禁自治体カンパ（土浦、出島、阿見）
- 6月23日 つくば平和の会憲法学習会
（インフォメーションセンター）
- 6月25日 自治体カンパ（出島）
7・14平和トーク交流会打ち合わせ
- 6月28日 県平和委員会常任理事会（水戸）
- 6月29日 基地見学・学習会（阿見町かすみ公民館）
- 7月7日 県母親大会（牛久高校）
- 7月11日 平和行進石岡土浦コース
- 7月14日 父母と高校生の平和トーク交流会
（3中地区公民館）
- 7月16日 平和の会理事会（1中地区公民館）
- 8月4～6日原水禁世界大会（広島）

基地見学と学習会

6月29日（土）

見学会 石岡市役所集合 10：00

学習会 阿見町かすみ公民館集合

13：00

父母と高校生の平和とーく集会

ところ 3中地区公民館

とき 7月14日（日）73：30

気軽にご参加く鷲さい ～16：30

主催 土浦母親大会実行委員会